

地域の子どもは地域みんなで育てる 2/3 2/10

中央小学校ではタブレット端末を使ったプログラミング学習が行われました

中央小学校の三ツ星スクールでは、タブレット端末を用いた「プログラミング学習」が行われました。

この日、1年生から4年生までが参加し、プログラミングアプリ「ビスケット」でブロック崩しゲーム製作に挑戦しました。

指導した栗原崇乃さん(徳山区)は「低学年の子どもたちには難しい内容でしたが、教えたことをすぐに吸収して、想像も付かないような作品を簡単に作ってしまう」と子どもたちの吸収力や創作意欲に感心した様子で話しました。



作ったゲームを見せながら、「すごいでしょ?」と満足げ

中川根第一小学校で、「割り箸ゴム鉄砲」工作体験が行われました



見事に命中!「やったー!」の音が教室に響きました

中川根第一小学校のなかよしスクールでは、4名の住民ボランティアが子どもたちに割り箸鉄砲の作り方を教えました。

子どもたちは輪ゴムで割り箸同士をまとめることに苦戦しながらも、鉄砲が完成すると、「簡単に作れた!」と満面の笑顔。的に見立てたマッチ箱に向かってこぞって輪ゴムを飛ばしていました。

なかよしスクールの運営をしている植田修さん(徳山区)は「子どもたちの笑顔が見られて本当に嬉しい。元気やエネルギーをたくさんもらえて、やりがいにつながっている」と笑って話しました。

※ 地域ふれあいスクールの講師やボランティアに興味のある方は、社会教育課までお問い合わせください ☎58-7080

2/12 地元の隠れた魅力に気付く時間に

川根の郷の夢を語る会が川根高校でオンライン開催 町内中学校・川根中学校の生徒が参加

今年で7回目となる『川根の郷の「夢」を語る会』が川根高校で行われ、中高生約100名がオンラインで参加しました。

この日行われた全体会では、高校3年生が地生学の研究成果や進路実現のためにすべきことを発表し、中学生や在校生に向けて「進路実現には準備を怠らないことが重要」と助言をしていました。

その後の分散会では、グループに分かれて川根地域の魅力やその発信方法について意見を交換しました。生徒たちは自分たちが住む地域には、まだ気付いていない隠れた魅力があることに驚いていました。



オンラインで中学生と意見交換を行った分散会

2/14 凛々しく、勇ましく、演芸活動の成果発表

舞踊にカラオケ、銭太鼓... 様々な演芸活動に観客は拍手喝采

川根本町文化協会が主催した「皆で楽しむ演芸会」が文化会館で行われ、赤石太鼓保存会や田代銭太鼓グループなど9つの団体が出場し、舞踊や大正琴など日頃の練習の成果を発表しました。

この日、来場した観客は約80名。出演者の生き生きとした姿に皆さん笑顔で拍手を送りました。

同協会長の中原康夫さん(千頭東区)は「皆さんが日頃の取り組みを発表できる機会をなんとかして創りたかった。ひとえに関係者の方々の努力と協力に感謝したい」と満面の笑みで話しました。



コーラス リベルテの皆さんのハーモニーが会場を包み込んだ



「鬼は外～福は内!」の音が町内に響きました

町内の保育園で節分にちなんだ行事を開催

町立保育園では、2月2日の「節分の日」に合わせて、園児がその風習を体験する行事が行われました。

三ツ星保育園では、園児たちはひいらぎの葉とイワシの頭を使った「やいかがし」を作ったほか、あぶった香花の葉で全身をなでてもらい、邪気を払いました。

その後、怒鳴り声を上げて鬼が登場すると、園児たちは怖がり、逃げまどいながらも「鬼は外!」と紙で丸めた豆を威勢良くぶつけて撃退し、無病息災を祈願しました。



小長井区高齢者サロンは活気で鬼をはらう!

2月4日、小長井区の高齢者サロンで行われた節分の行事では、住民ボランティアが鬼に仮装。参加した住民は鬼に向かって、新聞紙を丸めて作った豆を、「福は内!」と快活な声を上げながら、笑顔でぶつけていました。

「楽しくおしゃべりすることが大事。心と体の健康づくりをして、コロナを撃退しましょう」と呼びかけた松下君江さん(小長井区)は、宮司に仮装し、参加者の健康と新型コロナウイルス感染症の終息を願い、のりとをあげてお祓いをしました。

サロンでは、冗談を言い合ったり、笑顔を交わしたりするなど、終始和やかな雰囲気に包まれていました。



▶ 仮装して準備万端! 「みんな笑顔にするでね～」と意気込む

